

Mizuho Daily Market Report

2023/12/18

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	141.97	142.15	+0.26	▲2.80
EUR	1.0994	1.0895	▲0.0098	+0.0132
AUD	0.6710	0.6699	+0.0000	+0.0120
SGD	1.3280	1.3327	+0.0053	▲0.0094
CNY	7.1061	7.1215	+0.0096	▲0.0487
MYR	4.6664	4.6693	▲0.0032	+0.0053
THB	34.80	34.84	▲0.18	▲0.49
IDR	15493	15493	▲4	▲17
PHP	55.66	55.67	▲0.13	+0.36
INR	83.16	83.00	▲0.33	▲0.38
VND	24257	24268	+14	+25

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.911%	▲1.0 bp	▲31.5 bp
日本(10年)	0.696%	+2.2 bp	▲7.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.016%	▲10.3 bp	▲26.0 bp
オーストラリア(5年)	3.821%	+2.7 bp	▲13.4 bp
シンガポール(5年)	2.708%	+2.5 bp	▲13.7 bp
中国(5年)	2.507%	▲1.7 bp	▲5.1 bp
マレーシア(5年)	3.548%	+1.0 bp	▲3.1 bp
タイ(5年)	2.453%	+1.0 bp	▲7.9 bp
インドネシア(5年)	6.529%	+0.3 bp	▲2.7 bp
フィリピン(5年)	5.861%	▲4.5 bp	▲16.2 bp
インド(5年)	7.111%	▲5.4 bp	▲13.4 bp
ベトナム(5年)	1.800%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,305.16	+0.2%	+2.9%
N225(日本)	32,970.55	+0.9%	+2.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,549.44	+0.2%	+0.6%
ASX(オーストラリア)	4,142.92	▲0.8%	+0.7%
FTSTI(シンガポール)	3,116.51	▲0.2%	+0.2%
SSEC(中国)	2,942.56	▲0.6%	▲0.9%
KLSE(マレーシア)	71,483.75	+1.4%	+2.4%
SETI(タイ)	7,190.99	+0.2%	+0.4%
JKSE(インドネシア)	1,462.45	+0.4%	+1.4%
PSE(フィリピン)	6,478.44	+1.1%	+3.9%
SENSEX(インド)	1,391.03	+0.9%	+0.7%
VNINDEX(ベトナム)	1,102.30	▲0.7%	▲2.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	265.07	+0.3%	+0.9%
金	2,019.62	▲0.8%	+0.7%
原油(WTI)	71.43	▲0.2%	+0.3%
銅	8,454.65	▲0.1%	+1.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	141.50	-	144.00
EUR/USD	1.0840	-	1.1050
AUD/USD	0.6530	-	0.6720
USD/SGD	1.3220	-	1.3370
USD/CNY	7.0950	-	7.1400
USD/INR	4.6400	-	4.7020
USD/THB	34.60	-	36.20
USD/IDR	15450	-	15680
USD/PHP	55.40	-	56.30
USD/VND	82.95	-	83.60
USD/VND	24,100	-	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は142円台前半でオープン。FED対比タカ派な欧州中央銀行のスタンスを受けてもドル円は水準変わらずレンジで推移。朝方は円が売られて一時142円半ばまで上昇したものの、その後円売り圧力が失速し、141円台半ばまで下落。その後も戻し、結局141円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は横ばい。米連邦準備理事会(FRB)のハト派転換を受け、市場には楽観的なムードが広がっている。

海外市場のドル円は141円台後半でNYオープン。朝方はウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁が「現在、利下げについて全く協議していない。」とFOMC後から利下げ期待が強まっている動きをけん制する発言を受け、米金利上昇に伴い142円台半ばまで上昇。しかし、その後に発表された米11月鉱工業生産とS&Pグローバル米国製造業PMIが予想を下回った事を受け、ドルが売り戻され、141円台半ばまで反落。その後低下していた米金利が再度上昇する動きに再び買いが優勢となり、142円台を回復する。午後は米金利が上げ幅を拡大する動きにドル円も142円台前半まで続伸。その後ポスティブ・アトランタ連銀総裁が「来年2回利下げ、Q3開始の可能性が高い」との認識を示すと、ドル円も小幅反落し、142円台前半でクローズ。

【金利】

金利市場は、本日も長期を中心に低下し、イールドカーブがさらにフラット化した。ニューヨーク未明は前日の流れを引き継ぎ、利上げ打ち止め観測からの買いで金利低下傾向だったが、ニューヨークが明けると、ウィリアムズ・ニューヨーク連銀が、利下げを語るの時期尚早といった内容の発言をしたと伝わると、売りが急激に強まり、金利は一時上昇、しかしその後はまた戻し、方向感のない動きで引けた。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。明日に日銀金融政策決定会合を控えていることもあり、日銀のタカ派化懸念がくすぶる中では、基本的には上値の重い展開を予想する。それでも、日銀が年内のアクションを見送れば再び円安地合いとなる可能性もあり、大きく下がれば拾いどころか。

【本日の予定】

(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、10-25y
(アジア) 11月 NZ ハフォーマンス・サービス指数
(アジア) 11月 NZ 非居住者 国債保有率
(アジア) 11月 シンガポール 非石油地場輸出 / 電子機器輸出
(アジア) 11月 中国 自動車販売台数
(アジア) 4Q NZ ウェストハック消費者信頼感
(欧州) 12月 独 IFO企業景況感指数
(欧州) 3Q 西 労働コスト
(米国) 12月 NAHB住宅市場指数
(米国) 12月 ニューヨーク連銀サービス業活動

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。